昭和分室の活動報告について

産学連携・共同研究イノベーションセンター　昭和分室長
大学院医学系研究科　教授　白尾　智明

群馬大学産学連携・共同研究イノベーションセンター昭和分室（以下、イノベーションセンター昭和分室）は、産学連携でも特に医工連携に焦点を絞り、その発展を図っています。まず、医学部附属病院、医学系研究科、保健学研究科、生体調節研究所、重粒子線医学推進機構で行われている研究成果をシーズとして産業界とのマッチングを推進しています。最近のマッチング推進の成果としては、保健学研究科の土橋教授が中心となった「アレルギー対策居住中の呼吸器・アレルギー疾患患者の気道炎症に与える効果の経時的解析」、重粒子線医学研究センターの金井教授を中心とした「重粒子照射装置に関する研究」、同じく重粒子線医学研究センターの山田客員教授を中心とした「重粒子線治療器群の効率的製造に関する研究開発」などの共同研究の推進があげられます。このたび昭和キャンパスでの活動を本格化させたイノベーションセンター群馬大学TLOの早川知的財産コーディネーターにも一部協力をいただきながら、今後ますます前橋工科大学や地域産業との連携を図る予定です。一方、創薬や医療器具の開発推進を目指して、臨床試験部と協力して、レギュラトリーサイエンスの推進を重点的に行おうと考えています。

平成 24 年度第一回医工連携研究会

また、イノベーションセンター昭和分室は、イノベーションセンター（桐生）の伊藤教授の協力のもと、医工連携の教育推進にも貢献しており、医学系研究科医科学専攻（博士課程）の医学基礎技術実習の中で医工連携基礎実習授業開講の中心的存在として活動しています。

昭和分室の活動には、桐生のイノベーションセンターや研究推進部医学系産学連携係との密な連携が必要ですが、事務補佐員の石田さんがこの大役を一手に担うとともに、分室業務を行う際の昭和キャンパスの職員と接する最前線ともなって働いています。今後、白尾（昭和分室長）、早川（TLO 知的財産コーディネーター）、小嶌（医学系産学連携係長）、石田（昭和分室事務）の4人を中心として、さらなる医工連携の発展を目指していきたいと思っていますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

主催：群馬大学　前橋工科大学　群馬県

平成２４年度　第一回 医工連携研究会

住み心地のよい住宅をめざす建築医工学

日　時　平成２４年１０月１日（月） 13:00～17:00
会　場　前橋テルサ ８階　けやきの間
前橋市千代田町2－5－1　TEL:027-231-3211
対　象　県民、医療・住環境に関連する企業及び団体等関係者
参加費　講演会　無　料
交流会　1500 円

プログラム

時　間			
	司　会	群馬大学　産学連携・共同研究イノベーションセンター　伊藤 正実　教授	
13:00～13:10	開催挨拶	群馬大学　研究・企画担当　平塚 浩士　理事 群馬県　産業経済部　根岸 富士夫　部長	
13:10～13:50	講演Ⅰ	ハラサワホーム株式会社　「アレルギー疾患と住宅　～エネルギーゼロを目指して～」	原澤 浩毅　代表取締役社長
13:55～14:35	講演Ⅱ	群馬大学　医学系研究科　小児科学　「居住環境の変化は経皮感作を助長している？」	荒川 浩一　教授
14:35～14:45	休憩		
14:45～15:25	講演Ⅲ	群馬大学　医学系研究科　神経精神医学　「住み心地の良さを脳画像で明らかにできるか？」	福田 正人　准教授
15:30～16:10	講演Ⅳ	前橋工科大学　工学部　建築学科　「アレルギー対策住宅における室内空気質の調査結果」	三田村 輝章　准教授
16:15～16:55	講演Ⅴ	前橋工科大学　工学部　建築学科　「バウビオロギーの理念・活動 ・快適な住まいづくりのための建材・構造等に関わる住宅設計研究・」	石川 恒夫　教授
16:55～17:00	閉会挨拶	前橋工科大学	辻 幸和　学長
17:05～18:30	交流会	名刺・情報交換等　前橋テルサ1F　イタリアンカフェ　オルヴィエターナ	

申込方法　９月２８日までに、裏面のＦＡＸ参加申込書にてご連絡ください。